

鷲巢敦哉氏『警察試験叢書第一編・向上受験の手びき附 全警察試験問題』

及び台湾総督府警察官及司獄官練習所『練習生必携』

(昭和 19 年 1 月刊) 一瞥 (再訂稿)

—最近台湾再発見の日本統治下台湾警察史関係希観書二題—

—日本統治下台湾警察史の一齣—

(令和 4 (2022) 年 7 月 28 日 (木) 現在)

(補訂経緯)

HP 初出: 平成 23 (2011) 年 10 月 29 日 (土) 初稿作成

平成 26 (2014) 年 11 月 10 日 (月) 改訂稿作成

(冒頭に「(追記)」を追加、その他一部修正)

令和 4 (2022) 年 7 月 28 日 (木) 再訂稿作成

(レイアウト全面変更、一部修正、追加)

(追記)

平成 26 (2014) 年夏に至り、多くの方々の御助力を得て『鷲巢敦哉著作集 補遺 警察試験叢書(続)・雑誌所収著作補遺(続)・索引』(緑蔭書房、平成 26 年 7 月 31 日刊)を刊行できた。同書に、本稿で言及した『警察試験叢書第一編・向上受験の手引き 附 全警察試験問題』(自己出版、昭和 9 年 7 月 31 日初版刊(未収録)、昭和 14 年 9 月 6 日改訂版刊(抄録)、巻頭に当時の督府警務局警務課長森田俊介氏(1899~1980)の「序文」あり。)、『警察試験叢書第四編・警察語学試験問題及解答集』(法院通訳 元練習所教官東方孝義氏(1889~1957)との共著、自己出版、昭和 10 年 11 月 30 日刊(抄録))及び台湾総督府警察官及司獄官練習所『練習生必携』(昭和 19 年 1 月刊(抄録))等を収録し得た。

これについては、本 HP 別稿『鷲巢敦哉著作集 補遺』(緑蔭書房、平成 26 年 7 月 31 日刊)概要」<<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/washisu003.pdf>>(HP 初出: 平成 26 (2014) 年 11 月 7 日 (金) 初稿作成)中で一、二紹介したので、併せ御参照いただければ幸甚である。(平成 26 年 11 月 10 日追加)

## [目 次]

- 1 はじめに .....2
- 2 鷲巢敦哉氏『警察試験叢書第一編・向上受験の手びき 附 全警察試験問題』 .....2
- 3 台湾総督府警察官及司獄官練習所『練習生必携』(昭和 19 年 1 月刊) .....5
- 4 おわりに .....5
- 【附録】本 HP 掲載鷲巢敦哉氏関係資料一覧.....6

## 1 はじめに

昨平成 22 (2010) 年秋、台湾で、台湾警察専科学校副教授劉惠璇博士「日治時期之「台湾総督府警察官及司獄官練習所」(1898~1937) —台湾警察専科学校校史探源(上篇)—」『警専学報』第 4 卷第 8 期(台湾警察専科学校<sup>1</sup>、民国 99 (2010) 年 10 月刊) 63~94 頁(ネット版<sup>2</sup>、抽印本もあり。)が公表され、次いで、今春(平成 23 年)には下篇も出された(同誌第 5 卷第 1 期(民国 100 (2011) 年 4 月刊) 1~34 頁、ネット版<sup>3</sup>、抽印本もあり。)。台湾警察専科学校は台湾総督府警察官及司獄官練習所をその前身とする由であるが、同稿は、極めて精緻な練習所史研究で、ただただ敬服に堪えない次第である<sup>4</sup>。

これを受け、同稿についての初歩的検討を行ったが、その過程で、幸いにも、中央警察大学教授梁添盛博士及び筆者劉惠璇博士の格別の御厚情により、未見であった日本統治下台湾警察史関係著作の希覯本ともいえる二書籍、すなわち、鷺巣敦哉氏(1896~1942)『警察試験叢書第一編・向上受験の手びき 附 全警察試験問題』(自己出版、昭和 9 年 7 月 31 日初版刊、昭和 14 年 9 月 6 日改訂版刊、巻頭に当時の督府警務局警務課長森田俊介氏(1899~1980)の「序文」あり。)及び台湾総督府警察官及司獄官練習所編『練習生必携』(同所、昭和 19 年 1 月刊)に接することが出来た。遥かに両博士に深甚の謝意を表するものである。

以下、本稿では、これら二著作について、一瞥しておくこととする。

## 2 鷺巣敦哉氏『警察試験叢書第一編・向上受験の手びき 附 全警察試験問題』

鷺巣敦哉氏の個人著作については、本 HP 別稿「鷺巣敦哉氏著作目録抄—日本統治下台湾警察史の一齣—」<sup>5</sup>のとおりであるが、同氏は、「警察試験叢書」なるものを刊行されている。その内容は、下記のようなものである。

- ① 『警察試験叢書第一編・向上受験の手びき 附 全警察試験問題』(自己出版、昭和 9 年 7 月 31 日初版刊、昭和 14 年 9 月 6 日改訂版刊、巻頭に当時の督府警務局警務課長森田俊介氏(1899~1980)の「序文」あり。部内試験の参考書。)
- ② 『警察試験叢書第二編・甲乙種巡査採用試験の実際と受験の要訣 附試験問題及解答集』(自己出版、昭和 10 年 2 月 15 日刊、巻頭に当時の督府警務局警務課長森田俊介氏の「序

<sup>1</sup> 台湾警察専科学校: <<http://www.tpa.edu.tw/>>

<sup>2</sup> 上篇ネット版:

<[http://www.tpa.edu.tw/mana\\_php/Download/File/magazine/TPC-bulletin/Date-pdf/4-8\\_05-%E5%8A%89%E6%83%A0%E7%92%87.pdf](http://www.tpa.edu.tw/mana_php/Download/File/magazine/TPC-bulletin/Date-pdf/4-8_05-%E5%8A%89%E6%83%A0%E7%92%87.pdf)>

<[http://www.tpa.edu.tw/mana\\_php/Download/File/magazine/TPC-bulletin/Date-pdf/4-8\\_05-%E5%8A%89%E6%83%A0%E7%92%87-%E6%96%87%E5%8B%98%E8%AA%A4%E8%A1%A8.doc](http://www.tpa.edu.tw/mana_php/Download/File/magazine/TPC-bulletin/Date-pdf/4-8_05-%E5%8A%89%E6%83%A0%E7%92%87-%E6%96%87%E5%8B%98%E8%AA%A4%E8%A1%A8.doc)>

<sup>3</sup> 下篇ネット版:

<[http://www.tpa.edu.tw/mana\\_php/Download/File/magazine/TPC-bulletin/Date-pdf/5-1\\_01-%E6%97%A5%E6%B2%BB%E6%99%82%E6%9C%9F%E4%B9%8B%E3%80%8C%E8%87%BA%E7%81%A3%E7%B8%BD%E7%9D%A3%E5%BA%9C%E8%AD%A6%E5%AF%9F%E5%AE%98%E5%8F%8A%E5%8F%B8%E7%8D%84%E5%AE%98%E7%B7%B4%E7%BF%92%E6%89%80%E3%80%8D.pdf](http://www.tpa.edu.tw/mana_php/Download/File/magazine/TPC-bulletin/Date-pdf/5-1_01-%E6%97%A5%E6%B2%BB%E6%99%82%E6%9C%9F%E4%B9%8B%E3%80%8C%E8%87%BA%E7%81%A3%E7%B8%BD%E7%9D%A3%E5%BA%9C%E8%AD%A6%E5%AF%9F%E5%AE%98%E5%8F%8A%E5%8F%B8%E7%8D%84%E5%AE%98%E7%B7%B4%E7%BF%92%E6%89%80%E3%80%8D.pdf)>

<sup>4</sup> <<http://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/renshujo.pdf>>

<sup>5</sup> <<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/washisu002.pdf>>

文」あり。採用試験の参考書）（※『鷺巣敦哉著作集』別巻〈緑蔭書房、平成14年1月31日刊）に一部分収録。）

③ 『警察試験叢書第三編・警察算術問題解法の秘訣』（台北一中教諭四宮勤一氏（1907～1992）との共著、自己出版、昭和10年2月15日刊）（※『鷺巣敦哉著作集』別巻に一部分収録。）

④ 『警察試験叢書第四編・警察語学試験問題及解答集』（法院通訳 元練習所教官東方孝義氏（1889～1957）との共著、自己出版、昭和10年11月30日刊）（紹介：『台湾協会報』第600号（平成16年9月15日刊）参照。※※『鷺巣敦哉著作集』補遺続集（第二輯）（『鷺巣敦哉とその時代（続々輯）—日本統治下台湾警察史雑纂 第六輯—』（自己出版、平成18年1月1日刊。「〔特別収録〕：『鷺巣敦哉著作集』補遺続集（第二輯）」）に一部分収録。）

6

⑤ 『警察試験叢書第五編・警察作文講座及文範』（上記①『警察試験叢書第一編・向上受験の手びき 附 全警察試験問題』（自己出版、昭和14年9月6日改訂版刊）中110頁に記載されているものであるが未見。）

⑥ 『警察試験叢書第五編 問題を基本とした法制及び経済教科書』（上記④『警察試験叢書第四編・警察語学試験問題及解答集』「巻末広告」に、「菊版1500（頁）位の予定」と記載されているが、未見のものであり、実際刊行されたか否かも不明であった。鷺巣敦哉氏『台湾保甲皇民化読本』第三版（昭和16年11月20日刊）の「巻末広告」で、当時下記『台湾行政法講話 試験問題と其解答』（未見）なる書籍が刊行されていることがわかるが、これと、本⑥とが如何なる関係にあるかについても、長くわからなかった。本件紹介記事として『台湾協会報』第600号（平成16年9月15日刊）<sup>7</sup>参照。⑥については後述する。）。

⑦ 『警察試験叢書第?編・台湾行政法講話 試験問題と其解答』（未見）

これらのうち、②『警察試験叢書第二編・甲乙種巡査採用試験の実際と受験の要訣 附試験問題及解答集』（自己出版、昭和10年2月15日刊）及び③『警察試験叢書第三編・警察算術問題解法の秘訣』（台北一中教諭四宮勤一氏との共著、自己出版、昭和10年2月15日刊）については、『鷺巣敦哉著作集』刊行時に実見でき、同著作集別巻にそれぞれ一部分を収録し得た。

また、④『警察試験叢書第四編・警察語学試験問題及解答集』（法院通訳 元練習所教官東方孝義氏との共著、自己出版、昭和10年11月30日刊）については、『鷺巣敦哉著作集』刊行時には実見できなかったが、その後台湾史、台湾文学研究の権威であった楊雲萍教授（1906～2000）<sup>8</sup>の旧蔵書中に存在することが公になったことから、まず『台湾協会報』第600号（平成16（2004）年9月15日刊）<sup>9</sup>で紹介し、更に、『鷺巣敦哉著作集』補遺続集（第二輯）（『鷺巣敦哉とその時代（続々輯）—日本統治下台湾警察史雑纂 第六輯—』（自己出版、平成18年1月1日刊。「〔特別収録〕：『鷺巣敦哉著作集』補遺続集（第二輯）」）中に、一部分を収録した。

しかるに、肝心の本叢書の最初に刊行された①『警察試験叢書第一編・向上受験の手び

<sup>6</sup> <<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/higashikata001.pdf>>

<sup>7</sup> <<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/higashikata001.pdf>>

<sup>8</sup> <<http://zh.wikipedia.org/wiki/%E6%A5%8A%E9%9B%B2%E8%90%8D>>

<sup>9</sup> 前掲 <<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/higashikata001.pdf>>

き 附 全警察試験問題』(自己出版、昭和9年7月31日初版刊、昭和14年9月6日改訂版刊)については、『鷺巣敦哉著作集』刊行時より長く台湾及び国内で渉猟を重ねてきたが、遺憾ながら接するに至らず、上記④『警察試験叢書第四編・警察語学試験問題及解答集』掲載「巻末広告」での概要紹介程度しか判明しない状況が続いていた。

これが、平成23(2011)年9月になって、幸いにも、上述のように、梁添盛博士及び劉惠璇博士の御高配により、漸く知ることができた次第である。今回接し得たものは、昭和9(1934)年7月31日刊行の初版ではなく、昭和14(1939)年9月6日刊行の改訂版であって、昭和13(1938)年度から開始された巡査部長養成のための台湾総督府警察官及司獄官練習所特別乙科(特乙科)制度<sup>10</sup>を踏まえたものであることから、日本統治下台湾警察史掉尾の警察教養制度の実態を知ることができ、それだけでも意味あるものといえる。

この他、同書で判明したことで鷺巣敦哉氏絡みの重要なことに一、二言及しておく、例えば、下記のものがある。

一つは、上記⑥『警察試験叢書第五編 問題を基本とした法制及び経済教科書』のことである。これは、④『警察試験叢書第四編・警察語学試験問題集及解答集』(法院通訳 元練習所教官東方孝義氏との共著、自己出版、昭和10年11月30日刊)「巻末広告」に、「菊版1500(頁)位の予定」と記載されているが、もとより未見のものであり、実際刊行されたか否かも不明であった。また、鷺巣敦哉氏『台湾保甲皇民化読本』第三版(昭和16年11月20日刊)の「巻末広告」で、当時『台湾行政法講話 試験問題と其解答』なる書籍が刊行されていることがわかるが、これも未見のものであり、同書と上記⑥とが如何なる関係にあるかについても、不明であった。しかるに、①記載の『警察試験叢書第一編・向上受験の手びき 附 全警察試験問題』(自己出版、昭和14年9月6日改訂版刊)「巻末広告」では、「=近刊予告= 台湾行政法講話(菊版三四百頁)」が掲載され、併せ、紹介文中に、「計画中の問題を基本とした法制の参考書が尨大で容易に完成しないので先づ行政法だけを分けて印刷するのであります。」とある。これ及び上記鷺巣敦哉氏『台湾保甲皇民化読本』第三版(昭和16年11月20日刊)の「巻末広告」からすると、その後、⑥『警察試験叢書第五編 問題を基本とした法制及び経済教科書』はやはり刊行されず、⑦『台湾行政法講話 試験問題と其解答』なるものが刊行されていた可能性があるが、なお未確認であり、今後の課題である。

二つは、①『警察試験叢書第一編・向上受験の手びき 附 全警察試験問題』(自己出版、昭和14年9月6日改訂版刊)110頁掲載の⑤『警察試験叢書第五編・警察作文講座及文範』のことである。同書は、この時点では既に刊行されていたとのことであるが、これまた、未発見のものであり、新たな課題となった。

この他、種々興味深いことが散見されるが、本『警察試験叢書第一編・向上受験の手びき 附 全警察試験問題』は、寔に重要なものであり、いずれにしても、早急に何らかの形で全容の検討をしておく必要があると思われる。

---

<sup>10</sup> 周知のように、往時の台湾警察においては、長年巡査部長制度の不備が指摘されていた。

### 3 台湾総督府警察官及司獄官練習所『練習生必携』（昭和 19 年 1 月刊）

戦前も戦後も、諸学校では、一般に、『一覽』とか『便覽』の類が刊行されている。ここで取り上げた台湾総督府警察官及司獄官練習所<sup>11</sup>『練習生必携』（昭和 19 年 1 月刊）もそのようなものの一つであるが、練習生が知っておくべき心得、関係法規等が網羅されている。ただ、残念なことに、戦前期の『一覽』によくあるような学校の概要、沿革、教育内容等の記載はない<sup>12</sup>。

この『練習生必携』なるものが、毎年刊行されていたのか否かは確認できないが、今回接したものは、昭和 19（1944）年 1 月時点の内容であって、従来ほとんど判明していなかった日本統治下最後あたりの練習所の諸状況を知り得ることは、寔に貴重である。特に、練習所の配置図が興味深い。この時期に練習所の新庁舎が建築されたと聞くが、このことは、終戦に近い時期のこともあって今まで判然としていなかった。しかるに、同書 48 頁掲載の「屋外掃除分担区域図」は、その状況を伝えており、珍重されるべきものである。今春梁添盛博士より台湾の HP「林小昇之米克斯拼盤」中「警察官及司獄官練習所（2011 年 2 月 17 日掲載）」<sup>13</sup>の紹介を受けたが、同所載の諸写真のうち、有名な昭和 20（1945）年 5 月 31 日台北大空襲<sup>14</sup>後の同年 6 月 17 日米軍撮影の練習所航空写真は、初めて見るもので驚いたが、これと照合すると、極めて面白いものがある<sup>15</sup>。

こうしたことから、同書についても、今後詳しく検討すべきものと思料する。

### 4 おわりに

以上、本稿では、今回初めて接し得た二書について一瞥したが、日本統治下台湾警察史中昭和十年代のことは意外と知られていない。そのような意味では、上記二書は極めて有意義なものである。今後、更に、当該年代の未知、未見の著作、資料の探索に努めていく必要がある。

---

<sup>11</sup> <http://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/renshujo.pdf>

<sup>12</sup> 『甲科修了者 考試合格者氏名録』（台湾総督府警察官及司獄官練習所、昭和 19 年 5 月 1 日刊。戦後、昭和 56 年 7 月に新竹警友会常務理事湯川秀吉氏（1904~1992）の再刊序文を付して再刊。）なるものが刊行されているが、これは、当時の判任教官湯川秀吉氏（昭和 18 年 1 月 29 日教官就任）が編輯されたもので貴重である。戦後新竹警友会を実質的に創設、主宰され、『新竹警友会報』の編輯実務をも長く担当された同氏から察して、『練習生必携』も同氏の関与が大きいと見てもよいのではないかと思われる。なお、新竹警友会については <https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/keiyukai.pdf> 参照。

<sup>13</sup> 台湾 HP「林小昇之米克斯拼盤」中「警察官及司獄官練習所（2011 年 2 月 17 日掲載）」

[http://linchunsheng.blogspot.com/2011/02/blog-post\\_17.html](http://linchunsheng.blogspot.com/2011/02/blog-post_17.html)

<sup>14</sup>台北大空襲:

<http://ja.wikipedia.org/wiki/%E5%8F%B0%E5%8C%97%E5%A4%A7%E7%A9%BA%E8%A5%B2>

<sup>15</sup> 台湾警察専科学校 HP「本校概況」[http://www.tpa.edu.tw/01\\_about.php](http://www.tpa.edu.tw/01_about.php) 中左上の建物写真は、後に長く台北市広州街時代の中央警官学校辦公大樓となったものであるが、元々は、本『練習生必携』「屋外掃除分担区域図」にいう練習所の「新庁舎」である。

【附録】本 HP 掲載鷺巣敦哉氏関係資料一覧（令和 4（2022）年 7 月 28 日追加）

・「鷺巣敦哉氏と『台湾総督府警察沿革誌』の編纂について—日本統治下台湾警察史の一齣—」

〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/washisu001.pdf>〉

・「鷺巣敦哉氏著作目録抄—日本統治下台湾警察史の一齣—」

〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/washisu002.pdf>〉

・『鷺巣敦哉著作集 補遺』（緑蔭書房、平成 26 年 7 月 31 日刊）概要—日本統治下台湾警察史の一齣—」

〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/washisu003.pdf>〉

・『鷺巣敦哉著作集』V（「雑誌所収著作」：緑蔭書房、平成 12 年 12 月 10 日刊）、同別巻（「警察試験叢書・雑誌所収著作補遺・索引」：同、平成 14 年 1 月 31 日刊）及び『鷺巣敦哉著作集 補遺 警察試験叢書（続）・雑誌所収著作補遺（続）・索引』（同、平成 26 年 7 月 31 日刊）所収論稿一覧—日本統治下台湾警察史の一齣—」（本稿）

〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/washisukiko.pdf>〉

・「鷺巣敦哉氏著『台湾統治回顧談（台湾の領有と民心の変化）』（台湾警察協会、昭和 18 年 9 月 20 日刊）・雑誌『台湾地方行政』比較対照表（三訂稿）—『鷺巣敦哉著作集』IV（『台湾統治回顧談（台湾の領有と民心の変化）』：緑蔭書房、平成 12 年 12 月 10 日刊）参考資料— 日本統治下台湾警察史の一齣—」

〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/washisukaiko.pdf>〉

・「東方孝義・鷺巣敦哉両氏共編『警察語学試験問題及解答集』（警察試験叢書第四編、自己出版、昭和 10 年 11 月 30 日刊）の再発見—日本統治下台湾警察語学教養の一齣—」

〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/higashikata001.pdf>〉

・「鷺巣敦哉氏『警察試験叢書第一編・向上受験の手びき 附 全警察試験問題』及び台湾総督府警察官及司獄官練習所『練習生必携』（昭和 19 年 1 月刊）—警—最近台湾再発見の日本統治下台湾警察史関係希覯書二題— 日本統治下台湾警察史の一齣—」

〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/washisutebiki.pdf>〉

・「村上収氏の御逝去を悼みて—『台湾総督府警察沿革誌 第二編 領台以後の治安状況 中巻—台湾社会運動史—』編纂過程の究明によせて— 日本統治下台湾警察史の一齣—」

〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/murakami001.pdf>〉

・「木村貞次郎氏台湾語関係著作目録抄—日本統治下台湾警察語学教養の一齣—」

〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/kimura001.pdf>〉

（了）